

コーチング
から始まる
インパクトを。

Impact begins with coaching

Annual Report

Social Coaching

2023

—

2024

hal.inc

01 代表挨拶

02 そもそもコーチングって？

03 なぜ今、コーチングなのか？

04 コーチングを求める社会起業家の困り感やテーマ

05 私たちのアプローチとテーマ

コーチと起業家のマッチングについて / コーチング中に扱ったテーマ / コーチの紹介

08 Social Coaching の変化実感

コーチングから始まるインパクト / チームコーチングから始まるインパクト

11 2023～2024年1年間の歩み

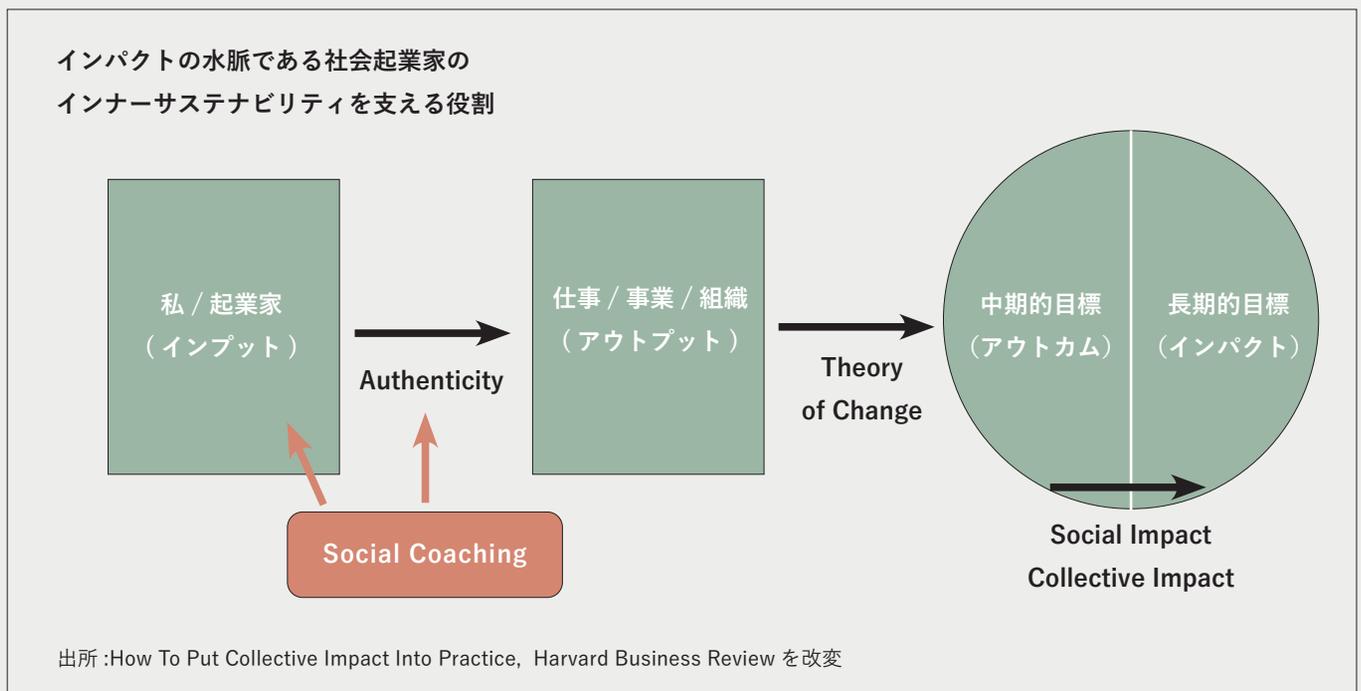
12 Social Coaching の今後の展望

13 特別なお案内

代表挨拶

「社会起業家へのコーチング」という非常にパーソナルな支援業に取り組んでいると、「インパクト」に関して考えが揺らぐことが多々あります。一つは、社会的インパクトに資するからこそコーチングとして意義があるんだという考えで、もう一つは、コーチングとは大変パーソナルなものなのだから必ずしもインパクトに資する必要はないというものです。

揺らいだ時、何度も戻ってくる図があります。こちらの図はハーバードビジネスレビューから改変したものです。インパクトに向き合う時に、事業開発や組織開発に取り組むことやその先のロジックモデルや Theory of Change に向き合うことは重要かつ必須でしょう。**ただ、どんなインパクトも始める人や続ける人であるインプットがないと始まりません。**多くの場合それは社会起業家です。そしてその社会起業家は、社会起業家である以前



に一人の職業も役職もない人間です。**この純粋な「私」や「私たち」が「どんな景色・世界が観たいのか」ということがインパクトの源泉であるはず**です。「どんな感情を味わいたい」でもいいでしょう。昨年につき、Social Coaching の**アニュアルレポートを企画するにあたって、今回は量的なデータより質的な声を重視しよう**という会議となりました。昨年についで企画できること自体を祝福・感謝しながら、今回のレポートでは**たくさんのお声をお届けできれば**と思います。テーマは「コーチングから始まるインパクト」です。ぜひ最後までご覧ください。

hal 株式会社
代表取締役
山田 瑠人



そもそも

コーチングって？

コーチングの由来

コーチングの語源から考えてみます。coachにはもともと「馬車」という意味があります。有名ブランドのCOACHのロゴも馬車です。**本来コーチとは馬車のように、「行きたい場所に連れて行ってくれるもの」**でした。「目標達成のためのコーチング」という文脈はここから来ています。

ただ、社会変革を起こす社会起業家にとって、「行きたい場所」はいつでもクリアなわけではありません。「隣の喫茶店まで」という時間的・距離的に近いゴールではなく、「数年後の～な社会」という長期的・広範囲的なゴールであることが多々でしょう。

Social Coachingのコーチは馬車そのものというより、馬車を運転する御者のようなものです。対話に秀でた御者です。馬車に乗り込んだあなたとコミュニケーションをとりながら、**行きたい場所にどのように行くか、そもそも今どこに行きたいと考えているのかを探索して決めていきます。**社会起業家のような複雑な課題解決や目標達成を行う人にとっては、**目標達成のためのコーチングであると共に、それ以上に「冒険としてのコーチング」**の意味合いも強いのです。なんでも話すことができるコーチがいることで、盲点に気付きながら爆速で進んでいけるのです。

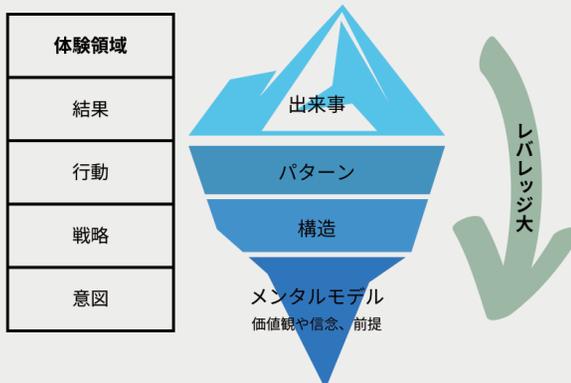


コーチングを求める 社会起業家のニーズ

大きな背景としてのコーチングは語られましたが、一人ひとりの社会起業家はコーチングに何を求めているのでしょうか。よく起業家にいただくお言葉は、**「利害関係のない第三者に、全部話しても大丈夫な心理的安全性の中で、のびのびと話したり考えたりできる唯一無二の時間」**というものです。チームメンバーや家族、友人、株主には相談できないと感じるような「誰にも相談できないことを相談できる場が欲しい」という想いがあるのです。

また、「**他のコーチングやカウンセリングでは経営面・ビジネス面の話が出来なかった**」という声もよくいただきます。Social Coachingは採用や育成においてここを大事にしているため、安心して活用いただけているようです。

【図1】



出所：『IDGs 変容する組織』を元に改変

01 ハイリスク・ハイリターン（？） なメンタルヘルス問題

「起業家のメンタルヘルス」の問題が語られて久しいですが、グローバル含めてもまだまだクリティカルな解決策は現れていないと考えています。データの中には、「**起業家の約半数（49%）が生涯に一度はメンタルの問題を抱える**」とするものもあるくらい、起業家一人ひとりにとって身近なテーマです。

個別の疾患を見ると、**ADHDや双極性障害（いわゆる躁うつ）、依存症は特に疾患割合が高く、対象群の3~10倍ほどとされています。**発症せずとも、メンタルヘルスの問題を抱えやすい傾向を起業家が持っていたり、環境要因的に発症しやすかったりするのです。

逆に言うと、ADHDや双極性障害、依存症の傾向を活かしてガッツと仕事に取り組む成果を出す起業家が多いのも事実です。「成功した起業家」は起業家的な精神的特性がポジティブに働いたケースも多いですが、それは氷山の一角に過ぎないかもしれません。結局、自分自身の気質とうまくやっていくことは起業家にとって他の職業と同じくらいかそれ以上重要です。

（出所）UC Berkeley 他 Are Entrepreneurs “Touched with Fire”?

02 解決策群としての メンタル投資

メンタル投資はこのようなリスクを軽減し、より確実なリターンが得られるようになるための重要な取り組みです。**メンタル投資とは、自分自身の心身に時間やお金、労力を投資することによって、精神的な安定やパフォーマンス、創造性の向上に期待する取り組み**です。金融投資と同じように、うまくいくとメンタルに関する資産も蓄積・増加していきます。

メンタル投資には様々な手段が含まれます。カウンセリングやセラピーを受けること、心療内科や精神科にかかることはもちろん、マインドフルネス（書く瞑想なども含む）や運動の習慣、自然と触れ合うこと、芸術の鑑賞、そして**コーチングも含まれます。**人によって好みや向き不向きがありますが、私たちは「メンタル投資としてのコーチング」という文脈を採用しています。

なぜ今、 コーチングなのか？

03 もう一つのメンタル、 「メンタルモデル」

Social Coaching はもう一つのメンタルに取り組みます。それは、「**メンタルモデルへの取り組み**」という文脈です。メンタルモデルとは、氷山モデルなど複雑な課題解決のためのシステム思考で主に言及される領域です。システムチェンジにおいて、出来事を変えるにはパターンに向き合い、パターンを変えるには構造に向き合い、構造を変えるにはメンタルモデルに向き合う必要性が語られてきました。

メンタルモデルとは個人や集団の行動論理や前提、信念のようなものです。（左頁図1）根本的なシステムチェンジにはメンタルモデルチェンジが重要とされています。そして、**システムチェンジを促す社会起業家（リーダー）は率先してこのメンタルモデルチェンジを自分に対して起こし体現することで、社会に影響を与えていく存在**であると考えています。

コーチングを含めた対話は、しばしば assumption（前提、つまりメンタルモデル）に働きかけます。メンタルモデルに気づき、必要に応じて思い込みを弛めたり、書き換えたりします。メンタル投資とは、メンタルモデル投資でもあるのです。

04 2つのメンタルに 取り組むコーチング

コーチングはメンタルヘルスとメンタルモデルの2つに対して、間接的にせよ取り組むアプローチです。**社会起業家へコーチングが広まるというシステムチェンジが起これば、一メンタルモデルが変わり、システムが変わり、パターンが変わり、行動が変われば一冒頭に挙げたメンタルヘルスのリスクを下げながらも、私たちの願うインパクトが社会に実装される梃子になる**と考えています。

コーチングを求める

社会起業家の困り感やテーマ

他の課題感としては、「メンタル安定のためのケアの時間を取り入れたい（メンタル）」「チーム・組織の関係性やコミュニケーションを良くしたい（関係性）」「事業の成果やインパクトの増進のために使いたい（事業・インパクト）」等が比較的多い声です。

※コーチング実施前アンケートやインタビューより一部抜粋

チーム・人間関係

- ・ チームメンバー、社員との向き合い方、リーダーシップ
- ・ コファウンダーとの付き合い方、関係性の作り方
- ・ 人を巻き込むときの自信あるマインドを身につけたい

メンタルヘルス

- ・ メンタルヘルスの保ち方、自分を犠牲にしすぎずに事業成長に向き合いたい
- ・ メンタルの安定を通じて、中期 / 長期への経営目標の達成をしていきたい

自身 / 事業の成長

- ・ 事業の立ち上げ、成長になりたいものは何か
- ・ インパクトスタートアップとして社会インパクトと事業成功の両方の達成ができるような起業家としてのマインドや素養を身につける
- ・ 人生で成し遂げたいことは何か、そのために何をすべきか。
- ・ 自社の組織変革のために何をすべきか
- ・ 自己分析、原体験の明確化
- ・ 気持ちがまだ経営者になりきれていないような感覚を打破したい
- ・ 会社を成長させたい
- ・ スタートアップマインドセット（社員だった時の当たり前にとらわれている自分を解放したい、限られたリソースや予算の中で取捨選択や優先順位の付け方など

私たちの アプローチと テーマ

01 コーチと起業家の マッチングについて

Social Coaching のマッチングでは、必ず一人ひとりと代表の山田が45-60分の面談を行なっています。そこでのヒアリングを元に、よいマッチングとなるようにコーチの紹介を行なっています。

マッチングには、社会起業家の抱える課題感やこれからへの想い、特性やバックボーンなどの条件への配慮も行いますが、それ以上に「**今このタイミングでどんなコーチと出会い、対話をすると望ましい化学変化が起きそうか**」という直感を重視し、たご提案・ご相談をしています。

02 コーチング中に 扱ったテーマ

※コーチング実施後アンケートやインタビューより一部抜粋

事業に関するテーマ

- ・そのときに最も気になること（自らの MVV、会社の MVV、面倒臭さについて）
- ・自分の経営的な意思決定で悩みがあった
- ・受託と自社サービスどちらに注力するか、事業の方向性決定（と自身の成長）
- ・中長期目標の設定、理想の言語化
- ・原体験の再認識、事業の失敗の原因
- ・トラクションを作る
- ・新規プロジェクトに対する向き合い方

起業家自身の成長に関するテーマ

- ・自分で自分にかけているブレーキについて
- ・起業活動とプライベートの両立
- ・メンタルヘルス / 仕事への向き合い方
- ・社会起業家として成長する上でのメンタルヘルスやマインドについて
- ・自身の働くスタンスの深掘り、リーダーとしての成熟について

チーム、人間関係に関するテーマ

- ・チーム内コミュニケーションの模索
- ・人間関係、メンタルヘルスについて

03 第6期 新コーチの紹介

Social Coaching では社会変革に共鳴する「Social Coach（弊社認定の約40名）」からマッチングを行い、ソーシャルリーダーの成長・変化に向けた発見と気づきを促す相棒となります。コーチ全員は当社HPで紹介しています。



hal 株式会社 HP- メンバー紹介 - はこちら→



佐久間徹
Toru Sakuma

長野県出身。大学卒業後、日本IBMでプロジェクト・マネジャー職に従事。在職中に経験した東日本大震災を機に社会課題への関心を強め、2015年、環境スタートアップの自然電力に参画。事業やバックオフィス立ち上げに従事し、各種プロジェクトの責任者としてビジネスと組織の成長に大きく貢献する。

その一方で、コロナ禍の急激な変化をきっかけに自身のバランスを失い、メンタル不調による5ヶ月の休職を余儀なくされる。

病を受け容れたことでようやく自身に向き合い、「誰もがありのままに自然にいられるように、声にならない声とともに聴く存在でありたい」という想いを抱く。

2022年、復職後に出会ったコーチングを学び始め、副業コーチとして活動を開始。2024年、CTI認定資格CPC取得。

さらに同年、「志あるスタートアップや個人を、自分のあらゆるリソースを注いで応援したい」との想いから、正副関係の「副業」から多様な分野での「複業」にシフトするべく独立。ソーシャル・コーチとしての愛読書は、森田真生訳「センス・オブ・ワンダー」



福田 幸寛
Yukihiro Fukuda

総合診療医として、緩和ケアや在宅診療で患者さんと家族に寄り添いながら、人生の締めくくりにも関わってきました。そして、病気があるかないかで幸せが決まるのではなく、大切な人との関係性こそ重要だと実感しました。人生の最終段階になってから大切なことに気がつくのではなく、何気ない日常の中で自分にとって大切なことを大切に生きる方をサポートしたいと願っています。

現在は産業医として働く人が、健全に働き、心地よく生きることを支援しています。産業医として心身の健康をサポートするだけでなく、コーチングで自分自身との関係性も、周囲との関係性も大切にできるようにサポートします。

特に、経営層や家族といった時に対立も起こるような深いコミュニケーションを必要とする関係性にむけたシステムコーチングを得意としています。

〈資格〉

家庭医療専門医 / 指導医

MBTI® 認定ユーザー

CRR Global 認定 組織と関係性のためのシステムコーチ (ORSCC)

国際コーチング連盟認定コーチ (ACC)



建部 真奈
Mana Takebe

個人の内面の葛藤とともに自分の外（家族 / コミュニティー / 組織 / 社会 / 世界）とそとで起きる葛藤の影響も丁寧に扱いながら、個人やチーム、家族やカップルが、自分らしい、自分達らしい在り方に出会っていくプロセスにコーチとして伴走させていただいています。

言葉と感覚を行き来しながら、普段は表現されにくい感情や価値観にも気づき、向き合っていくことを大切にしています。個人セッションはもちろんのこと、カップルコーチング、チームコーチング、英語でのセッションも可能です。今後、多文化間の関係性コーチングにも積極的に取り組んでいきたいです。

本業では国際人道支援団体の日本事務局でIT部門のマネージャーと経営チームの一員も務めています。

自分自身のプロジェクトの失敗 / 管理職としての自信の無さを必死で補うため、MBAと個人に対するコーチング平行して学び、自分自身も様々な経験を重ねていく中で、個人の内面で起きる葛藤に「関係性や組織 / 社会の規範が大きく影響を受けていることに気づき、関係性のコーチング（カップル、チーム、組織等のグループに対するコーチング）にてプロ資格（ORSCC）を取得。」

副業でコーチングを提供しながら、人道援助団体というあからさまに意義深い自分の組織で起きる、国籍だけではなく多様な価値観の関わり合い、関係性の葛藤の中に身を置き、組織戦略にも関わりながら、現場と経営、個人と組織、日本とグローバル、MBAとコーチングの知識と実践知、論理と感情の間をフローしながらバランスよく扱うことに奮闘中です。

鹿島アントラーズの30年来のサポーターで年間30試合ぐらいはスタジアムで観戦しています。

〈資格・学位〉

組織と関係性のシステムコーチ ORSCC

産業カウンセラー

グロービス経営大学院 経営学修士 (MBA)



由井 利昌
Toshimasa Yui

キャリアのスタートは美容師として店舗のマネジメントや人材育成を行う。その後渡英し、フリーのヘアスタイリストとしてファッション、広告を中心に活動。多様な国籍、ジェンダー、文化をバックグラウンドに持つメンバーとチームを組成しプロジェクトをリード。

全く価値観の異なるメンバーの中で対話する力が鍛えられるだけでなく、「自分の持つ常識、価値観を手放し、自分という枠を外す」ことで当たり前をアップデートする経験を得る。その後帰国し、起業。

ビジョンの実現と利益の創出に奔走するが、まったく仕事ができなくなってしまうバーンアウトを経験。無理やりでも事業を推進しようとするが、組織の人間関係が悪化、事業への影響も大きく、最後には事業をたたむ決断をする。この出来事がきっかけでコーチングを受けることに。

その体験に魅了されたことや、自身の価値観と合致したことで、コーチとして活動することを決意。

現在は、長男の発達障害をきっかけに、コーチとして個人の伴走をする活動しながら、個性のままに育つ環境側を作るべく株式会社LITALICOという会社に属しマーケティングを行う。「誰もが個性のまま多様性のある世界の受け皿になる」というビジョンのもと、これまでの多様な文化、ジェンダー、価値観の中で経験したことを活かして、個人（コーチング支援）と環境（会社を通して場の提供）両軸のアプローチをしています。

マイプロジェクトとして、ストリートに出て、ポートレート撮らせていただきながら、その人らしさに耳を傾けるインタビューをさせていただきフィールドワークを行なっています。



安藝 亮
Makoto Aki

岡山生まれ、神奈川の男子校育ち（6年間）。上智大学を卒業後、東京ガス、KADOKAWA、P&G、キリンビールと、好奇心に任せ業種も文化も、人種まで全く違う会社を旅するように働いてきました。

キャリアは、マーケティングや経営戦略がメインになります。

KADOKAWA では雑誌やコミックスのセールスマーケティング。P&G では美容家電のブランドマーケティング。キリンビールでは全新商品の商品評価マネージャー（ブランドコンセプト、缶デザイン、CM等）

同僚達が自己成長や評価の獲得、目標達成のために自らを過度に追い込み、心身を害していった経験から彼・彼女達をサポートできる人になるためコーチングを学び、現在は副業でプロコーチとして活動しています（CICP 認定資格取得）。また、一人ひとりの個性を成果に繋げるため社内メンタリング組織を運営していました。

クライアントは仕事を軸としながら、在りたい自分や人生を模索されている方が多いです。

思考を巡らせるハードワーカーほど、頭でぐるぐる考えて上滑りし、深く課題を捉えられなくなりがち。そのことから、クライアントの心の奥底の願いや思い、怖れを具現化して一緒に見ることで、前に進んでいくコーチングを心がけています。フラットさとエモさの両立がモットーです！

コーチングの他に、マーケティングとコーチング経験を活かして、起業・副業・フリーランスへのマーケティング戦略・ブランディング支援も行っています。

趣味は温泉と地元グルメ目当ての気ままなひとり旅と漫画をごろつきながら読むこと。

バリバリに見られがちですが、心のゆとり命！です！



柴山 真
Makoto Shibayama

旅することば舎

パーソナルコーチ / 米国 CTI 認定 CPCC

フェアトレードむさしの代表

1992年、東京都生まれ。大学卒業後、税理士法人・税理士事務所で7年ほど従事。その後、地域創生や地域活性化に興味を持ち、ベンチャー企業に転職。前職経験を活かし財務・経理を担当しています。

学生時代にフェアトレードやエシカルを専攻した経験から地域団体「フェアトレードむさし」に参画。武蔵野市を東京初の「フェアトレードタウン」にしたいという思いを持ちながら活動しており、2021年4月から代表を務めています。

2022年4月からコーチングの世界へ足を踏み入れ、2022年7月より「旅することば舎」の名のもと、パーソナルコーチとして活動を開始しました。2024年3月には米国 CTI 認定 CPCC を取得。

現在は「旅するコーチ×カメラマン」として、旅先で出会う言葉や土地のエネルギーをセッションに活かし、クライアントの心の奥底へ深く繋がることを目指しています。言葉と視覚の両方で心の表現を引き出し、共に心の旅に出るようなセッションを提供。

主に20代、30代の方を対象に、転職、恋愛など人生の大きな転換期を迎える方へのコーチングを行っています。葛藤を抱え、未来への不安を感じている方々に寄り添い、その方だけの答えを見つけるお手伝いをしています。

私がコーチングの世界に入ったきっかけは、クライアントとしてコーチングを受けた経験から、その可能性に魅せられたことでした。自分自身のキャリアや価値観が大きく変化し、同じように20代、30代の皆さんが、コーチングを通じて自分らしい生き方を見つけ、心から満足できる人生を送れるよう、全力で応援しています。最近の愛読書は、岡本真帆さんの短歌集「水上バス浅草行き」と「あかるい花束」



会川 智華
Tomoka Aikawa

大学在学中に会計士となり、主にベンチャー企業の資金調達やIPO支援からキャリアを開始。退職後は個人事業主「令和のよろず屋」として、組織開発やHR領域を中心に活動しました。

そんな中で出会ったコーチングの人を信じる力に惹かれ、プロコーチに転身。

2024年から株式会社 Oden にて、リーダーシップ・パートナーシップへの伴走コーチングを提供していて、「リーダーの孤独に寄り添い、柔らかいリーダーシップを守る」ことに特に思い入れがあります。

ワインと日本酒が大好き！なんとかバランスを取るべく最近プールに行き始めました。



フランク マキ
FRANCK Maki

北海道出身、札幌育ち。現在はフランス・パリに暮らして20年程になります。

移住当初は日本と海外の文化の違いに大きく戸惑い、自己表現に悩んだ時期もありました。

国際結婚、離婚、海外就職、フランスでの起業など、さまざまな経験を通じて自己を深く見つめる「内省」の習慣を身につけ、人生を自分が納得のいく方向に大きく変えていくことができました。この経験をきっかけに、現在はパーソナルコーチ兼傾聴心理士として活動しています。

セッションでは、クライアントが外部の価値観や固定観念を取り払い、内面の深い想いに触れることを重視し、本当に望む在り方（Being）と、達成したいこと（Doing）をバランスよく実現するサポートを提供します。

また、『内省をもっと日常にする』ことを目指して、メンタルモデル、コミュニケーション心理学を活用した、リフレクション、ジャーナリング、アサーションのワークショップも行っていきます。



木村紫帆
Shiho Kimura

母校の専門学校でプログラミング教育に従事後、SE・エンジニアを経て、IT企業の人財開発部門に転身。

第2子の産休・育休中にコーチングと出会い、復帰後から社内外を問わず、ライフコーチとしても活動する。

プライベートでは、2児の母。発達障害を持つ我が子の子育てに奮闘する中、実母が病で半身不随となり、障害者やその家族の支援に強い関心を抱く。

縁あって、福岡の就労継続支援B型事業所に開設したコーヒー焙煎所「LITA COFFEE」のメンバーとして、障害者の賃金の問題やコミュニティづくりに取り組んでいる。出身は石川県。好きな方言は「つるつるいっぱい」。

ビジョンや価値観とつながり可能性に気づく「広がるコーチング」と、感情や感覚を味わい願いに気づく「深めるコーチング」を行います。

純粋な好奇心からくる問い、直感や言葉にならない感覚、比喩表現やイメージを用いた関わりが得意です。セッションにおいては、コーチとクライアントのパートナーシップが何より大切だと感じています。

クライアントの気づきを最大化するため、ありのままを話せるような安心・安全の場を共に築いた上で、心地よいだけの時間にならないよう、時には一歩踏み込んだ関わりをすることもあります。

セッション中だけでなく、セッションとセッションの間の日常も含めてコーチングとして捉え、起こったことや感じたことをすべて素材にして、クライアントに伴走します。

Social Coaching

の変化実感

これまでの社会起業家クライアントの方々の声から、
以下の3層の効果をあげることができます。

01

まずはメンタルヘルスです。コーチング自体が、信頼できる人に安心して本音を話せる時間であり、ケア的に働きます。コーチングで話したテーマやアクションがケアを加速させます。

02

次にパフォーマンスです。自分への気づきである自己認識や、目標と現状を管理する自己管理能力が高まることで、一つひとつ行動と会話が効果的・創造的になります。

03

最後に内面の成長です。これはメンタルモデルの変化とも言えます。インパクトを先導して体現するリーダーとして、在り方が変容していくターニングポイントとしてのコーチングとも捉えていただいております。

コーチングから始まるインパクト

これまでの社会起業家の皆様の声を「コーチングから始まるインパクト」というテーマでまとめました。社会や関係性へのインパクトはもちろん、自分自身に対するインパクトが語られています。

延長線ではない大きなゴールを描けたり、プロダクトづくりに限らないアイデアがよぎった。

自分の言動の深層心理を汲み取ったコミュニケーションにより、気づきが深まる

自分以上にコーチが自分の未来や可能性を信じてくれていると感じます。

自分の弱みに悩んでいたのですが、弱みが実は強みだったかもしれないと思ったり、弱みだと認識するようになった経緯が自分の中で見つかったりして、とてもいい気づきになりました。

理解者を探したり見つけたり「しなければ」、もしくは理解されやすく振る舞わなければということに燃料を投下していることに気付いていましたが、今日を通して心底もったいないと思えて本当によかった。

自分で自分にかけているブレーキについて、セッションを通じて気づくことができました。

自身の思い込みに気づき、 非連続な自己革新が起こる

起業家や経営者として器を広げ、 事業成功に繋がりたい

人を巻き込むときの自信
あるマインドを身につけ
たい！

インパクトスタートアップとして社会インパクトと事業成
功の両立ができる起業家のマインドや素養を身につけたい
と思っています。

人生で成し遂げたいこと
は何か、そのために何を
すべきかを落ち着いて考
えることができました。

メンタルヘルスの保ち方、自
分を犠牲にしすぎずに事業成
長に向き合いたい

毎日、毎時間を、前向き
に、主体的に、意思を持っ
て、過ごすことができいて
います。応援してもらえてい
る、伴走してもらえてい
る、一緒に航海に出してくれ
ているという実感が、私に
力をくれていると思ってい
ます。

評価されずに何でも 話せる相棒がいること

この時間はしんどいのを甘え
させてもらう場所、かっこい
いことを言わなくてもいい場
所です。「事業成長をこう考え
ています！」といったような
上昇志向を見せたり、ポジティ
ブに振る舞ったりを無理にし
たりするところではないのが
ありがたいです。

一言で言うと、毎回話しやすく助か
ります！ジャッジされてない感じ、尊
重されてる感じがあって何を口にして
も大丈夫そう・安全性が高い時間だと
感じます。ありがとうございます。

一人に思索に耽り、行動が止まってしまう「暗
闇に落ちる」ような時間をくぐり抜けるため
の考え方のヒントを沢山頂いています。

忙しくても本当に 重要なことにコミットできる

「他者に思いやフィードバックどう伝
えるのか」など、コミュニケーション
のためのヒントや、お仕事でクライ
アントさんと共有すべき深い目的意識、
頭打ちになっていると感じている事業
の目的に立ち戻ることなどを提案して
頂き、仕事にワクワクとした気持ちに
向かうことができそうな気分になっ
ています。

ペアコーチングを受ける
前までは、会社の未来を
想像することがすごく退
屈に感じていたのですが、
ペアコーチング終了後
には希望と期待を感じなが
ら未来を想像することが
できました

今回の課題に限らず、私が純粋にエ
ネルギーが沸くことは何かを考えれ
ます。

いろいろな経営課題に忙しい
中で、創業の想い・原点に改めて
気づきコミットし直すことが
できた。

チームコーチングから始まるインパクト

安心して言い合える フラットな場になる

社長としては、会議を進行しなくて良いというのは非常に素晴らしいことだなと。ミーティングを進行しつつ、全員に平等な発言の機会を与えることを両立するのは非常に難しいので、進行役がいるだけでもすごく価値があります。

自分たちで話していると、不穏な方に行かないように、良い話にとどめようとする感覚のようなものが働いてるかもしれないなと思っていて。丸く収めようとするような。ですが、それを納めなくていい。言いたいことは言って、対立したら進め方をコーチが提案してくれる

安心して喧嘩できるみたい
なところがある

立ち上がるの良かったです！
その後、話がたくさん出てきたの、すごいテクニック、、、。

普段とは違う 「対話の仕方」で 変化が生まれる

やはり、空気、空間をつくるのが本当に上手だなと思いました。全員が主人公になれた感じがして、それぞれの価値観や人生を感じられたので、視点が広がりました。

それぞれの想いや考えを
聴くことでお互いの理解が深まった

トップダウンの組織なので、コーチの方が各メンバーをフェアな立ち位置に調整し、本音を聞き出してくださったことで、いいコミュニケーションの機会になりました。ありがとうございました！

これまでも2人で同じようなテーマについて何時間と議論してきたのですが、切り口や視点を変えてもらえるような問いかけをいただくことで、こんなにも視野が広がるのか！と感動していました。

「私はこう思う」という意見は言い合えても、
どういう背景でそう思うのかを知るのはなかなか難しいことですが、
そこまで触れられたような感覚があります。

各メンバーの価値観から 意見が話せるから、 新たな可能性が見える

「自分たちが目指していくのは、
社会課題解決ではなく、
社会価値提案なのだ」

普段の社内 mtg ではつい論点が迷子になることもあるのですが、論点を整理しながら進めてくださるので、個人が自由に発言する形でも方向がまとまり、また、全員が発言できるように回していただき、やりやすかったです。

全員が対等に話せる場、お互いに厳しい指摘になるかもしれない本音を安全に言えるような場が今までなく、どうしたら良いかと考えていたので、とても有益な時間でした。ありがとうございます。

2023~2024年1年間の歩み

2023

10

オンラインカウンセリングサービス「cotree」と社会起業家特化型コーチングサービス「Social Coaching」が連携、社会起業家へのメンタルヘルス支援強化

プレスリリース
cotree と Social Coaching が連携
社会起業家へのメンタルヘルス支援を強化
cotree × Social Coaching

コーチ4期研修開始

beyond2023 にブース出展

11

Kyoto Social Impact Program
でワークショップ実施



2024

1

提供起業家数 累計 80 人

コーチ5期研修開始



3

IMPACT SHIFT スポンサーとなり、
ブースを出展

5

提供起業家数 累計 100 人！

コーチ6期研修開始
(最後のコーチ集合研修。
1~6期合わせてコーチの人数が41人に！)

マインドフルネスイベント
社会起業家のメンタル投資、自己変革を
促すマインドフルネス～ADHD的傾向、
気分の波、プチ依存とうまく付き合う～



6

ソーシャルチームコーチングの
提供を開始

コーチ合宿



7

IVS2024KYOTO
に代表山田が登壇



Social Coachingの今後の展望

01

複数人向けの コーチングの浸透



今年度から個人ではなく複数人向けに対するコーチング、通称チームコーチングの検証を開始しました。関係性をよりしなやかに、創造的にしていくことで、アウトプットやアウトカムに寄与します。

方法論としてはORSC®やGTC (Genelative Team Coaching) というチーム向けのコーチングプロフェッショナルを採用する仲間と共に、チームにおける可能性や課題を発見していく対話やエクササイズ等を行なっています。

複数人向けのコーチングは、パーソナルに勝るとも劣らないポテンシャルの高さを代表山田が感じており、さらに展開していきたいと願っています。

NEW! 02

新サービス立ち上げ 「ソーシャルファシリテーション」



一方、個人へのコーチング以上にイメージが湧きづらいのが複数人のコーチングの実態です。また、チーム全員がパーソナルコーチングを受けるよりは安価とは言え、研修程度の予算が掛かるのもソーシャルベンチャーには考えものです。

そこで、コーチングではない会議や合宿など「ケ（日常）の日」にソーシャルファシリテーターこと複数人向けのプロフェッショナルであるソーシャルコーチが参画してファシリテートするサービスを検証しております。

より取り入れやすい形に編集していき、ソーシャル/インパクトセクターの「2つのメンタル（メンタルヘルスとメンタルモデル）」に取り組んでいきたいです。

コーチング から始まる インパクトを、ともに。

Social Coachingに

ご興味を持っていただいた方へ

特別なお案内です

コーチングを受けたい社会起業家の方へ

社会課題解決を重視する創業者・経営者のあなたに、
最適なコーチング体験を”費用ゼロ”でお届けします。



社会起業家に伴走したいコーチへ

社会課題をビジネスで解決するためにチャレンジする
“社会起業家のコーチ”として共に歩みませんか？



h h h
a a a
l l l